



もくじ CONTENTS

- | | | |
|-----------------|---------------------|--------------------|
| ● 巻頭言…………… P2 | ● インフォメーション…………… P3 | ● 読者のコーナー…………… P7 |
| ● 職場紹介…………… P3 | ● 病気と治療…………… P4 | ● 外来診療担当医表…………… P8 |
| ● 人事だより…………… P3 | ● トピックス…………… P6 | ● 編集後記…………… P8 |



雪の三年坂
撮影 二〇一七年一月十五日 第一内科副部長 安成俊秀

ここの地の名

舞鶴赤十字
病院編
その 43

舞鶴市文化財保護委員
舞鶴地方史研究会会長

加藤 晃 様



五老 [ごろう]

舞鶴の赤レンガは、海軍の鎮守府（基地）関係が多い。ロシアと戦争するために明治22年に建設がはじまり、34年開庁した。三舞鶴をむすんで鎮守府街道が作られ、翌年榎・道芝・葛の三トンネルが開通した。そのうち葛は無くなったが、榎は平成7年拡幅され往復二本になり、五老トンネルとなった。167m。

道芝 [みちしば]

明治35年にできた道芝トンネルは、全長341m、狭くて長いので幽霊が出ると言われた。中舞鶴が海軍用地になって通行できなくなり、代わりに東西舞鶴をつなぐ。銘板には左読みで「豁然貫通」とあり、開通した感激をものがたる。平成7年に拡幅され、外装は元とそっくりに作られたので見分けがつかない。

北吸 [きたすい]

明治37年福知山から舞鶴線が、新舞鶴（東舞鶴）まで開通した。その時中舞鶴へ業務用の引き込み線が作られ、北吸トンネルもできた。大正8年中舞鶴線となったが、昭和47年に廃止。タイルが敷かれて、レトロで素敵な遊歩道になった。市政記念館とともに国の登録有形文化財に指定されている。全長110m。



院長
西田 和夫
にしだ かずお



DPC（診断群分類）に基づく支払制度について

舞鶴赤十字病院は平成28年4月から入院の診療報酬をDPC（診断群分類）に基づく一日当たり包括払い制度に移行しました。これは急性期病床100床に対して適応され、回復期病床48床、地域包括病床は除外されます。

この制度は平成15年に閣議決定により導入されたもので、最初は一部の特定機能病院で開始されましたが、平成18年からは「DPC対象病院」の名称で急速に広まりました。また平成25年からはDPC病院は3群に分類され、平成28年の時点でI群は大学病院81施設、II群は大学病院に準じた診療機能を有する病院140施設、III群はその他の急性期病院1446施設となっています。DPC病院の全病床数は49万ほどで、これは全国の病床の55%に相当します。当院はIII群に属しますが、大病院である京都第一、第二赤十字病院はII群に入っています。

DPC制度に基づく診療報酬は傷病名毎に設定された包括評価部分と出来高評価部分（手術、麻酔など）の合計から算定されます。包括評価部分は一日当たりの点数（入院期間に応じて三段階になる）に在院日数と医療機関ごとに設定された係数（医療機関別係数）を乗じることで算出されます。包括評価部分には出来高診療報酬での入院基本料、検査画像診断、投薬、注射などが含まれます。

しかしながらすべての入院患者さんがDPC制度にマッチするとは限りませんので例外はあり、例えばオブジーボなどの高額薬剤の使用例や、臓器移

植などでは包括評価はできなくなります。

次に医療機関別係数はそれぞれの医療機関の設備、体制や診療機能を反映する乗数で、これには機能評価係数I、機能評価係数IIなどがあり、特に機能評価係数IIは「保険診療指数」「効率性指数」「複雑性指数」「カバー率指数」「救急医療指数」「地域医療指数」「後発医薬品指数」「重症度指数」の8項目から算出されます。この係数が大きい病院のほうが高度な医療機能を有するとみなされ、一日当たりの診療報酬が高くなっていきます。

それでは今までの出来高払いとDPC制度に基づく包括払いとはどのような違いがあるのでしょうか。例えば出来高払いは、検査数の増加や薬剤が増えていく可能性があります。一方、包括払いではさほど必要のない検査などは行われなくなり、医療費は抑えられます。また保険請求の簡素化にも包括払いは貢献できそうです。ただ欠点としては新たな保険診療を組み入れるにはやや不都合な面もあることです。しかしながら国の政策ですから基本的には日本全体の医療費を減少させたい思いはあると考えられます。

実際当院の入院診療費は出来高払い時に比べ、DPCに基づく包括払いでは診療費はやや減少傾向です。またDPCのデータを用いて全国区的なレベルで当院の診療内容を評価することも可能で、今後当院でもそれらの分析を踏まえてさらに効率の高い診療体制の構築を図りたいと考えております。

舞鶴赤十字病院理念

赤十字理念「人道・博愛」のもと、一人ひとりにやさしさと思いやりをもって、いのちと健康、尊厳を守り、地域医療に貢献します。

基本方針

- 1 地域医療の中心的役割を果たすために、救急体制を整備し、安全で質の高い医療を提供します。
- 2 地域の中核病院として、他の医療・保健・福祉施設と協働し、地域医療連携の推進に努めます。
- 3 赤十字の使命である災害救護に貢献します。
- 4 健全で合理的な病院経営に努めます。
- 5 快適な医療・療養環境の整備に努めます。
- 6 職員は常に研修・研鑽に努め、病院はこれを支援します。



人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.

職場紹介 こんにちは 外来 です!



●文 外来師長 中村 和美
なかむら かずみ

私たちを見かけたら声をかけてくださいね!

テーマ「これからの外来」

2025年の舞鶴市の高齢化率の予測は31.3%と言われています。高齢者の増加や平均在院日数の短縮化、慢性疾患患者の増加などに伴い、在宅や地域と病院をつなぐ役割や機能、看護専門外来の充実がこれからの外来には求められています。

今年度、外来では「つなぐ」をキーワードに在宅療養支援の充実に取り組んでいます。退院後初めて受診される患者さんに、ご家庭での療養生活の様子や困ったことなどをお聞きします。介護負担や治療・療養の継続が難しく何らかのサポートが必要な場合は、ソーシャルワーカーやケアマネージャー、訪問看護師、認定看護師達と連携をはかりサポートさせていただいています。

●患者さんへのお願い

他の医療機関にかかっておられる患者さんが当院を受診される場合は、病状の経過や検査結果、処方薬がわからないと正しい診断や治療の開始が遅れたりしますので、かかりつけ医の紹介状の持参をお願いしています。また、誤った飲み合わせや重複投与などを防ぐために薬手帳の持参を必ずお願いいたします。



人事だより Personnel Changes



【採用】

看護師	堀 家 佑和子	平成28年11月1日付
看護助手	佐 藤 玲	平成28年11月1日付
臨時看護師	山 田 美智子	平成28年11月1日付
看護師	勢 旗 はるみ	平成28年12月1日付
看護助手	庭 林 晴 花	平成29年1月1日付
臨時看護師	高 岡 彰 子	平成29年1月4日付
臨時主事	木 本 綾 香	平成29年1月16日付
臨時主事	下 田 育 代	平成29年1月23日付

【退職】

臨時主事	吉 崎 美 里	平成28年10月31日付
臨時主事	西 田 真優子	平成28年11月28日付
臨時看護師	太 田 康 子	平成28年12月27日付
言語聴覚士	山 元 扶希子	平成28年12月31日付
臨時主事	波多野 由紀子	平成29年1月13日付
看護師	藤 田 紘 子	平成29年1月31日付
臨時看護師	小 泉 宏 子	平成29年1月31日付
臨時調理助手	渡 辺 加代子	平成29年1月31日付

Information インフォメーション

平成28年度 糖尿病教室予定 会場：舞鶴赤十字病院 東館1階講堂

お問合せは 医療社会事業課／健診センター (TEL 0773-75-1920) まで

毎月第3水曜日
13時30分から

月 日	内容「テーマ」	担当者	
2月15日(水)	知って得する薬の話 「正しく薬を飲むために」	薬剤師	舞鶴赤十字病院では、定期的に医師や看護師等による糖尿病教室を行っています。 当院に通院されていない方でも結構です。よいコントロールを続けるためには是非ご参加ください。 ※本年度は食事体験の実施はありません。ご了承ください。 ※都合により会場・時間が変更になる場合があります。
	糖尿病の合併症 「え・の・きで覚える合併症」	看護師	
3月15日(水)	まとめの座談会	看護師	
		管理栄養士	

「緩和ケア」って!?(2)

前回の病気と治療では緩和ケアについての概説と“舞鶴赤十字がんサポートチーム”の紹介をさせて頂きました。今回も投稿の機会を頂きましたので、緩和ケアについてよくある相談や疑問についてQ&A形式で解説させて頂きます。



●文 伊藤 範朗
いとう のりお

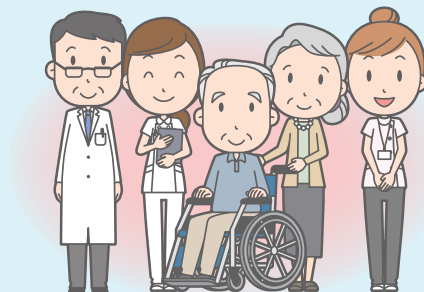
外科副部長
緩和ケア研修会
指導者講習修了

【前号概要】

病気を患っている間の様々な苦痛として、からだの痛みはもちろん、その他の症状や気持ちのつらさ、そして日常生活を送る上での色々な悩みなど、が考えられます。それらの苦痛（全人的苦痛）に対して様々な職種の専門家が**チームとして**協働し、治療などの検討を行っていくのが“緩和ケア”です。当然、積極的治療がなくなっているほうが苦痛や悩みが増えるでしょうし、緩和ケアとしてそういった患者さんと接する機会が多くなります。しかし、病気のどの段階でもひとりひとり色々な苦痛や悩みはありますので、それに対処していくのが緩和ケアということになります。WHO（世界保健機関）による2002年の定義では生命を脅かす疾患となっていますが、日本では一般的にがんの方を対象としています。

つまり、自分らしくより良く過ごしていけるよう、そして、がんになったのは不運だけれど不幸ではない、と言えるような生活を送れるよう、色々な視点からお手伝いするのが“緩和ケア”だと言えます。

そして、昨年6月に当院の緩和ケアチームを“舞鶴赤十字がんサポートチーム”の名前で日本緩和医療学会にチーム登録致しました。サポートチームは医師、認定看護師、看護師（外来、病棟、訪問）、薬剤師、作業療法士、管理栄養士、医療社会福祉士がメンバーになっています。



それでは本題です。

Q：告知って絶対しなければならないの？

A：高齢なので可哀そうとか、治療法が無いので可哀そうとか、気が弱いから耐えられないのではない、といった理由でご家族が告知を拒否されることがあります。しかし、以下の4



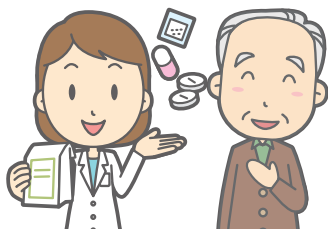
つの理由から基本的には告知するのが良いと考えます。①患者さんは病状をしっかりと把握したうえで、治療方針を決定する権利を持っています。②周りが余命を知っているのに、患者さんだけが知らないのはある意味おかしいことだと言えます。③ご自身が感じる体の調子と説明が違うと、患者さんにとって大変なストレスになります。④病状について嘘をつき続けるのは、ご家族にとって大変なストレスになります。

いずれにしても、どのように告知するか（例えば、いきなり説明するのではなく、段階を経て

徐々に現状に近づけていくなど)、そして告知後の落ち込んだ状態をご家族や医療従事者がどうサポートするのか、が重要です。ただし、精神疾患にかかっている方や、かかったことのある方は主治医や精神腫瘍科専門の先生と相談したほうが良いと考えます。

Q:再発や手術できないがんには抗がん剤ですよね?

A:一般的に推奨される治療法(各がんに対するガイドラインにのっているような治療法)は抗がん剤になることが多いですが、がんの種類によって抗がん剤の効果には差があります。そして、あくまで生存期間を延ばす目的で選択されます。

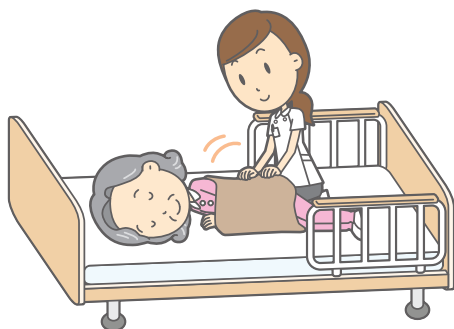


抗がん剤治療を受けるか受けないかは、どれくらい生存期間を延ばせるのか、治療を受けながら過ごしていくうえで、生活の質はどれくらい低下するのか、ご自身の人生に充分満足しているのか、といったような様々な要素を考えて答えを決めるのが良いと考えます。

しんどくても少しでも長く生きたいと思う方もいれば、元気な間にしたいことがあるので抗がん剤治療は受けないと考える方もいるでしょう。生き方が色々あるように、治療法の選択も色々あって良いのです。極論を言えば、正確な情報を理解してしっかりと考えたのなら、手術を受けるか受けないかも、ご自身が選んで良いのです。

Q:がんってやっぱり痛いんですよね?

A:がんで亡くなる方のうち、3分の1の方が痛みを



感じずに過ごしていけるとされています。全く痛みを感じないのが理想ですが、夜眠れるぐらいとか、動いていない時は大丈夫なぐらいとか、動いても我慢できるぐらいとか目標を徐々に高く設定していき、理想に近づけていきます。

Q:抗がん剤が効くって聞いたのに状態が悪くなっていくのですが…

A:医療従事者が効く、と表現した場合には色々な意味が含まれます。①根治する(完全に治って、今後再発する心配が無い)②一時的に、がんが縮小したり、大きくならない状態が続く③一時的に、大きくなるスピードが遅くなる。②と③の場合には延命効果が無い場合も含まれます。

いかがだったでしょうか?

誤解を恐れずに言うなら、人は誰もがいつかは必ず亡くなります。他の病気の治療についても、治療をしたからといって、自分が永遠に生き続けられるとは誰も考えないものです。治療するのは、より良く生きるためだといっても良いかもしれません。完治する病気以外はどんな病気でも治療しながら症状と付き合って過ごしていかなければなりません。がんは特殊な病気だと思われることが多いのですが、そういう意味では他の病気と変わらないと考えて良いのではないのでしょうか。

何しろ奥の深い内容なので短い紙面ではなかなか伝わりにくかったかもしれませんが、少しでも緩和ケアの雰囲気に触れて頂けたのなら幸いです。今はがんとの関わりが無い方も、“死”と向き合い、ご家族で話し合う契機に少しでもなったなら幸いに感じます。

最後に…

がんを患っている方、そして支えているご家族の方、みなさんが様々な状況で病気と闘っておられることと思います。何かお困りのこと、気がかりなことがありましたら、お気軽に相談頂ければ幸いです。われわれ“舞鶴赤十字がんサポートチーム”が縁の下の力持ちとして全力でサポート致します。

[Topics]



12月22日(木) クリスマスイベントを催しました

医療社会事業課主事 小島 あかり
こじま



当院には毎年サンタさんがやってきます。サンタさんのお手伝いをしてくれるのは当院ボランティアの方々と、城北・城南中学校の生徒さん達です。入院中の患者さんに手作りのプレゼントとクリスマスカードを渡していただきました。心のこもった贈り物に皆さんとても喜んでくださいました。

待合ロビーではクリスマスコンサートが開催されました。院内保育園マーチングの子ども達の歌やダンス、中学生の皆さんのクリスマスソングの合唱にところが癒やされました。最後は、西田さんによるピアノコンサートでした。ピアノ伴奏に合わせて色んな歌をロビーの皆さんと一緒に歌いました。懐メロなどもあり、楽しそうに歌っておられ、大変に盛り上がりました。



スポーツ安全講習会

リハビリテーション科 作業療法士 川崎 啓太
かわさき けいた

平成28年12月23日に舞鶴赤十字病院東館講堂にて、スポーツ安全講習会ベースボール編を指導者、保護者向けに開催しました。

最近は野球肘検診やインターネット等により、投球障害について知られるようになってきています。しかし、実際子ども達がボールを投げ、痛みを訴えた時、この痛みは大丈夫な痛みなのか、どのように対応すべきか疑問に思われる方も多いと思います。

今回は、野球肘とはどういう障害なのか、実際に野球肘になると病院でどのような治療を受けるのかについてリハビリテーション科理学療法係長の水嶋祐史が講演しました。講習会は参加者からの意見も多く聞かれ、充実した内容となりました。

リハビリテーション科では、平素よりスポーツ障害に対し、指導者、保護者、選手に向け、講習会やコンディショニング教室を実施しております。今後も舞鶴市のスポーツ障害予防に貢献できるよう活動していきますのでよろしくお願いします。



世界糖尿病デー

糖尿病看護認定看護師 角出 孝子
かどで たかこ

毎年11月14日は「世界糖尿病デー」です。

世界糖尿病デーとは、国連が2006年に認定した世界的に「糖尿病」を啓発する日であり、糖尿病の予防や治療継続の重要性を周知するために、各地で糖尿病啓発キャンペーンが開催されています。その一環として糖尿病のシンボルマーク「ブルーサークル」の青色ライトアップが全国各地で行われています。当院も毎年、写真のように病院玄関前をブルーライトアップしています。



2014年から毎年外来フロアで啓発活動を行っており、今年も糖尿病を知ってもらう展示物の作成やパンフレットの無料配布、甘味料の試供品配布を行いました。展示サンプルのジュースや食品に含まれる砂糖のあまりの多さに、驚いて立ち止まる外来患者さんの姿が見うけられました。



世界糖尿病デーや関連イベントをきっかけに「糖尿病」について自分やご家族、大切な人とともに考え、予防にむけた一歩を踏み出していただきたいと思います。

イキイキ 読者のコーナー

読者の皆様からの、短歌、俳句、川柳、詩、写真などを掲載させていただくページです。投稿ならびにお問合せは、医事課 升本までお願いします。なお、作品には、住所、お名前、電話番号もお書き添えください。



秋野菜 孫の車の席占めて
畑仕事 暫し手を止め 秋の虹
市内桑飼上 佐藤 英子様

俳句

夢ひとつ追ふのもいまはうとましく喜寿すぎでするクレヨン遊び
何かるるやうに枯れ葉が廻りをり水引草のその花の下
市内紺屋 中嶋 洋子様

農協の“南さんのみかん”美味なりき“南さん”見る度購いおりぬ
高齢者は何故にHをエッチと言う 娘にとわれわが歳知りぬ
市内余部上 瀬野 幸子様

新年の日めくりをてに八十路の我 最後の一枚めくるを願う
返納を決めし心はゆるがいて 高齢講習 やはり出席
市内桑飼上 佐藤 英子様

舞鶴湾をまたぎて懸かる冬の虹を人ら足止め指さしてをり
草紅葉美しき山路をかきこそと沢蟹横切る谷川めざし
市内京田 上羽 玉枝様

短歌「作者50音順」

舞鶴赤十字病院 外来診療担当医表

平成29年2月1日現在

診療科			月	火	水	木	金	受付時間	診察開始時間	備 考
内 科	午前	1診 (予約)	安威	西田和	西田和	西田和	西田和	予約制	8時45分～	1診・2診は予約診察 3診は新患及び予約外診察
		2診 (予約)	米山				米山	//	//	
		3診 (新患)		米山	安威			7時45分～11時30分	//	
		専門外来 (予約)	《糖尿病外来》 福田	《療養指導外来》 糖尿病看護 認定看護師	《禁煙外来》 担当医		《フットケア外来》 糖尿病看護 認定看護師	予約制	月曜 10時30分～ 火曜 9時～ 水曜 14時～ 金曜 9時～	《糖尿病外来》 予約受付は平日の14時～16時 (電話予約可) 《療養指導外来》 初回は外来を受診し予約 (電話予約不可) 《禁煙外来》 診察は隔週、予約受付は平日の14時～16時 (電話予約可) 《フットケア外来》 初回は外来を受診し予約 (電話予約不可)
消化器内科	午前	2診 (予約)			酒田			予約制	8時45分～	2診・4診は予約診察、3診は新患及び予約外診察 (受付は内科3診で) 木曜と金曜の3診は予約と予約外の混合診察 金曜の担当医は隔週で交代
		3診 (新患)	酒田			加賀谷	藤井 / 雨宮	7時45分～11時30分	//	
		4診 (予約)		藤井 / 雨宮 (午前) (午後)	加賀谷			予約制	//	
神経内科		2診 (予約)		堀尾		徳田		予約制	火曜 10時～ 木曜 10時30分～	予約受付は平日の14時～16時 (電話予約可、完全予約制)
小 児 科		午前	岡野	岡野	岡野	岡野	岡野	7時45分～11時30分	8時45分～	慢性疾患外来・予防接種は完全予約制 《慢性疾患外来》 電話予約不可 (外来受診後医師の指示による) 《予防接種》 電話予約可 (申込、変更は平日8時45分～11時30分) 予防接種希望で当院受診歴のない場合は平日8時45分～11時30分に新患受付に来院の上、小児科外来で予約
		午後 (予約)	慢性疾患外来	予防接種		予防接種	慢性疾患外来	予約制 (備考参照)	14時～	
外 科	午前	1診	矢野裕	山下 / 木ノ下	加藤	加藤	《乳腺内分泌外来》 藤原	7時45分～11時30分	8時45分～	乳腺内分泌外来は完全予約制 火曜の担当医は隔週で交代
		2診	伊藤				矢野裕	//	//	
		午後				《肛門外来》 加藤	《乳腺内分泌外来》 藤原	12時～15時	13時30分～	
		専門外来 (予約)	《ストーマ外来》 専任看護師					予約制	9時～	
整形外科	午前	1診 (新患)	片山 (新患15人まで)	松木	中瀬 / 仲川 (1・4週) (2・3・5週)	松木	中瀬	7時45分～11時30分	8時45分～	月曜1診は午後からの予約診察の都合により人数を制限 水曜日は祝・祭日の週は週数に数えません
		2診 (予約)	仲川 (新患)	仲川	片山 / 中瀬 (1・3・4週) (2・5週)	片山	仲川	//	//	
		3診 (予約)	中瀬		松木 (1・2・4・5週)			予約制	//	
		4診 (予約)	松木					//	//	
	午後	1診 (予約)	片山					予約制	13時30分～	
		2診 (予約)			片山 / 中瀬 (1・3・4週) (2・5週)			//	//	
		3診 (予約)			松木 (1週)			//	//	
		専門外来 (予約)				《WOC外来》 皮膚・排泄ケア 認定看護師			予約制	
皮 膚 科	午前	辻井	辻井	辻井	辻井	辻井	7時45分～11時30分	8時45分～	火曜・水曜・木曜の各午後は回診及び手術のため外来診察はなし	
	午後	辻井	隔週褥瘡回診	手術	手術	辻井 (予約)	12時～16時	14時30分～		
泌尿器科		午前	上野		北森	井上		7時45分～11時30分	月・水曜 8時45分～ 木曜 9時～	
眼 科	午前	1診	八木	堀内	八木	八木	担当医	7時45分～11時30分	8時45分～	1診・2診ともに予約と予約外の混合診察 午後の診察、検査、治療などは原則として予約制 コンタクト外来は第二、第四木曜のみ (新患受付可)
		2診	堀内	堀内				//	//	
		午後	検査レーザー		検査	コンタクト外来		12時～14時30分 (コンタクト外来のみ)	13時30分～	
耳鼻咽喉科		午後	大西				中村	12時～15時30分	14時15分～	嚥下評価は要予約 (予約受付は月曜と金曜の14時～16時、電話予約可)

※予約の有無に関わらず受付が必要となりますので、必ず診察券をご持参ください
(初診の方は、新患窓口で診察券を作成しお渡しします)

※予約変更のお電話は平日の14時～16時にお願いします

編集後記



いつも紅鶴をご覧いただきありがとうございます。今年もみなさまに沢山の情報を提供できるよう、頑張っていきたいと思います。
さて、寒い日が続いておりますがみなさまいかがお過ごしでしょうか？
インフルエンザや胃腸炎が流行していますが、手洗いやうがいを欠かさず行い、お身体には十分気をつけてお過ごしください。
最後に、みなさまにとって今年一年幸せな年となりますように。
今年も紅鶴をよろしく願います。

T・T

読者の皆様へ

紅鶴編集チームでは、皆様のご意見、ご感想をお待ちしております。官製はがきか、病院備え付けのご意見箱に「紅鶴について」とお書き添えの上、お寄せください。どんな些細なことでも結構です。よろしくお願いたします。



紅鶴設置場所のご案内

当院外来受付に設置しております。数に限りがございますので、予めご了承ください。なお、当院ホームページから過去分も含め、PDFでご覧頂くことも可能となっております。

紅 鶴
第82号

題 字 名誉院長 横田 敬
発行所 舞鶴赤十字病院
舞鶴市宇倉谷427 TEL.0773-75-4175
ホームページアドレス <http://maizuru.jrc.or.jp/>
発行日 平成29年(2017年)2月1日

発行責任者 院長 西田 和夫
編 集 大田 悦子、小島あかり、佐藤 史昌、里見紀久子、
竹内 隆志、谷内 好美、升本 陽介、水嶋 祐史
(50音順)
印 刷 ㈱コザイ印刷 TEL.0773-75-1475